

特長

集中管理

- リアルタイムの洞察
- アクセス制御
- マルチベンダー対応

全デバイスの可視化

- クラウド ネイティブ
- 非クラウド ネイティブ
- サードパーティ ネットワーク

柔軟な管理

- パブリック + ローカル
- (インターネット接続モード)
- ローカル (非インターネット接続 - エア ギャップ モード)

アプリケーション アナリティクス

- 実用的なビジネス インサイト
- アプリケーションのテレメトリと DPI 駆動
- 根本原因分析によるトラブルシューティング

ネットワーク アクセス制御

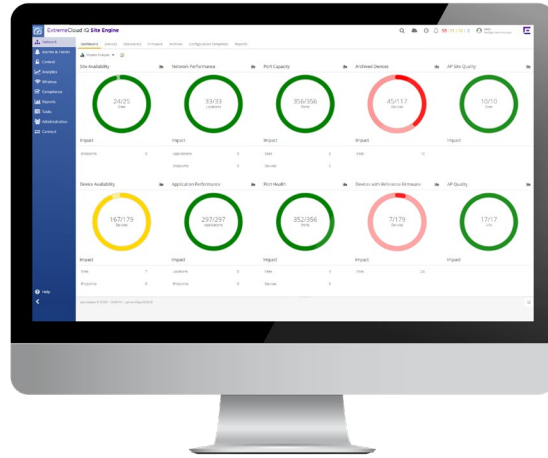
- ロールベースのアクセス セキュリティ
- 安全な BYOD、ゲスト アクセス、IoT

ロジック (ワークフローやイベント管理)

- 直感的なタスクの自動化やオーケストレーション
- 組み込みのワークフロー ツール
- スクリプト言語のサポート

統合されているアプリケーション

- ExtremeAnalytics™
- ExtremeControl™
- ExtremeConnect™



ExtremeCloud™ IQ - Site Engine

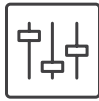
クラウドへのパスを提供し、全デバイスをエンドツーエンドで可視化することで、ExtremeCloud IQ の価値を向上

ExtremeCloud IQ - Site Engine は、ExtremeCloud IQ のクラウド ネットワーク管理製品の価値を高め、サードパーティ製ネットワーク機器や非クラウド ネイティブなネットワーク機器の移行パスを実現します。また、ExtremeCloud IQ の管理機能を強化して、Extreme Networks のユニバーサルハードウェア (スイッチとアクセス ポイント) およびレガシー デバイス用の機能を追加します。これによりビジネス リーダーは、既存のインフラストラクチャを丸ごと入れ替えることなく、自分のペースでクラウドベースの運用モデルを採用することで、ネットワーク モダナイゼーションの目標を達成できます。

エンドツーエンドのネットワーク管理、タスク自動化、リアルタイム分析、サービス保証、オーケストレーションを提供します。ExtremeCloud IQ - Site Engine は、複数のアプリケーションを組み合わせることなくすべてのネットワーク デバイスを可視化して、ネットワーク全体を一元的に把握できるダッシュボードビューを提供します。

Software as a Service (SaaS)サブスクリプション型の製品として提供されるため、IT リーダーは、総保有コストの削減、利益が得られるまでの時間の短縮、および独自のスケラビリティを実現できます。

ほとんどのメリットは、ExtremeCloud IQ - Site Engine と ExtremeCloud IQ をインターネット接続モードで併用し、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Google Cloud Platform (GCP)、Microsoft Azure のパブリッククラウドでネットワークを管理することで得られます。インターネット接続モードでは、柔軟な導入モデルを提供できるため、組織固有の非クラウド ネイティブなデバイスやマルチベンダーのデバイスにも対応できます。さらに ExtremeCloud IQ - Site Engine は、特定の業種や地域の要件を遵守するために、インターネットに接続しないローカル接続の「エア ギャップ」モードで導入することもできます。すべての導入モデルをサポートし、顧客データのセキュリティは妥協しません。また、データ主権要件に対応したオプションも用意されています。



エンドツーエンドのネットワーク管理

ExtremeCloud IQ - Site Engine は、有線と無線のネットワーク エッジからデータセンター、マルチベンダーのデバイスに至るまで、1つの画面からエンドツーエンドで管理できます。ほぼゼロタッチのプロビジョニングにより、新規のインフラストラクチャを迅速に稼働させることができます。ユーザー、デバイス、アプリケーションを、わかりやすいダッシュボード インベントリとネットワーク トポロジできめ細かく表示し、効率的な管理を可能にします。ポリシーや BYOD (Bring-Your-Own-Device) などの新サービスは、統合された GUI で有効化し、ExtremeControl for ExtremeCloud IQ - Site Engine を通じてネットワークのエントリーポイントで適用されます。サードパーティ製ネットワーク機器の管理を強化するために、そのトポロジと検出結果がダッシュボードに表示されます。強力なファブリック プロビジョニングが組み込まれており、サービス提供までの時間が短縮されます。



安全なクラウド ネットワーキング インフラストラクチャ

ExtremeCloud IQ - Site Engine は、組織の有線ネットワークと無線ネットワークのセキュリティを統一し、ユーザー、デバイス、アプリケーションの詳細な可視化と制御を可能にします。

ExtremeCloud IQ - Site Engine の一部として提供される ExtremeControl アプリケーションを使用すると、サードパーティ製ネットワーク機器を含めたすべてのデバイスに対するロールベースのネットワーク アクセス制御 (NAC) により、アクセス セキュリティを実現できます。このアプリケーションは、BYOD、ゲスト アクセス、IoT を安全に実現して外部の脅威からネットワークを守り、不正なユーザーや侵害されたエンドポイントからのネットワーク アクセスを未然に防ぐことで企業のデータを保護します。コンプライアンスに対応したきめ細かいポリシーの一元管理・定義、ユーザーとデバイスの特定、認証、ターゲットポリシーの適用が可能です。

ネットワーク セキュリティ、エンタープライズ モビリティ管理、分析、クラウド、およびデータセンターに関するソリューションを含む、主要なエンタープライズ プラットフォームと統合されています。さらに、オープンなノースバウンド API を提供しているため、主要なエンタープライズ プラットフォームへの統合をカスタマイズできます。ExtremeControl の詳細については、[ExtremeControl for ExtremeCloud IQ - Site Engine のWebsite](#)をご覧ください。



分析主導の意思決定

ExtremeCloud IQ - Site Engine は、エンドツーエンド ネットワークからの実用的なビジネス インサイトを、アプリケーション テレメトリと DPI (ディープ パケット インスペクション) によって得たアプリケーションの性能とネットワークに関する詳細な情報とともに提供します。ExtremeAnalytics for ExtremeCloud IQ - Site Engine は、アプリケーションとネットワークの性能を分離することでトラブルシューティングを高速化するため、根本原因を迅速に特定できます。シャドー IT を監視して、悪意のあるアプリケーションや不要なアプリケーションの特定と報告を行い、セキュリティに関するコンプライアンスを支援します。

ExtremeAnalytics の Analytics Engine は、アプリケーションの可視性を、有線と無線のデバイスからキャンパス、データセンターにまで拡張します。ネットワーク管理者は、ディープ パケット インスペクションを使用することで、複数レイヤーのネットワーク トラフィックの確認と分析を行い、リアルタイムで正確に情報分析を行うことが可能になります。さらに、AWS、GCP、Azure との統合により、単一の分析ツールセットでキャンパス、データセンター、クラウドのインスタンスに対応するという独自の機能が提供されます。ExtremeAnalytics の詳細については、[ExtremeAnalytics for ExtremeCloud IQ - Site Engine のWebsite](#)をご覧ください。



ワークフローによる自動化

ExtremeCloud - IQ Site Engine では、クロス ドメインのワークフロー自動化機能を直感的かつグラフィカルな方法で提供しているため、ネットワークの作業を簡単に自動化できます。組み込みの自動化ツールとワークフロー ツール、一般的なスクリプト言語 (Python) のサポートにより、これらを組み合わせてワークフローを作成できます。これらの機能により、コマンドライン インターフェイスによる管理が減り、IT 担当者の負担や不注意によるダウンタイムの影響が軽減されます。ワークフローは、しきい値への到達、syslog メッセージやトラップの受信、ユーザーアクション、外部 API コールなどの任意のイベントで発動させることができます。ワークフローから、ネットワークを再構成したり、サードパーティ製ソリューションとやり取りしたりすることも可能です。たとえば、デバイスの再起動が検知されたときに、技術的なログと詳細情報を収集し、ワークフロー自体でヘルプデスクのチケットを作成することができます。高い CPU 使用率が検知されたときに、実行中のプロセスに関する追加の情報をワークフローで収集することもできます。ExtremeCloud IQ - Site Engine から、午前 3 時のモーニング コールを午前 10 時のフォロアアップ コールに変更することも可能です。



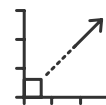
コシシステムの統合

ExtremeCloud IQ - Site Engine は主要なエンタープライズ プラットフォームと統合されているため、ビジネス プロセスを合理化し、より堅牢なデータ分析を実現して、シームレスなユーザー エクスペリエンスを提供できます。ExtremeConnect では、ネットワーク セキュリティ、モバイル管理、分析、クラウド、およびデータセンターのソリューションに関して主要なエンタープライズ プラットフォームとの統合を実現しています。さらに、Extreme のスイッチや無線 AP のネットワーク インフラストラクチャ製品群から、包括的なオープン API スイートが提供されます。これには、SNMP や syslog などの従来の統合手法に加え、REST ベースの API など、より効率的な統合手法も含まれます。詳細については、<https://developer.extremecloudiq.com> をご覧ください。



デジタル トランスフォーメーション

IT リーダーが Infinite Enterprise の実現を目指す中で、ユーザーがどこに居ても構わないように分散したネットワークを持つ企業では、技術の中心にユーザーのニーズがある利用者中心のエクスペリエンスを提供し、そのエクスペリエンスを大規模に実現しています。ExtremeCloud IQ - Site Engine は、クラウド ネットワーク管理への移行を自分のペースで行うことを可能にします。ローカル モードでネットワークを管理して、準備ができたらクラウドに移行できるという柔軟性も備えています。ExtremeCloud IQ - Site Engine は、クラウドベースのシンプルな管理を、無限に分散したデバイスとエンド ユーザーに拡大することで Infinite Enterprise を支えます。このように ExtremeCloud IQ - Site Engine のクラウド対応パスが Infinite Enterprise の実現に理想的であるのは、必要なときに必要な場所で、データ主導の情報に基づいた意思決定を行うための適切なツールが提供されることにより、エンド ユーザーのネットワーク管理に関する積極性を高めることができるためです。



俊敏性とスケーラビリティ

ExtremeCloud IQ - Site Engine により、サードパーティ製ネットワーク機器のファームウェアと設定を大規模かつ迅速に展開できるようになり、時間がかかる上にミスも多い手作業によるオンボーディングと更新を削減できます。

仕様

仮想アプライアンス オプション

ExtremeCloud IQ - Site Engine 仮想アプライアンスは、VMware® または Hyper-V サーバーに VHDX のディスク形式で導入する必要があります。

- VMware Site Engine 仮想エンジンは .OVA ファイル形式 (VMware が定義) でパッケージ化されています。
- Hyper-V Site Engine 仮想エンジンは .ZIP ファイル形式でパッケージ化されています。

仮想アプライアンスのスケールビリティについては、[リリースノート](#)をご覧ください。

ExtremeCloud IQ - Site Engine の導入オプション

- Red Hat Enterprise Linux WS および ES の v6 および v7
- Ubuntu 18.04 (64 ビットのみ)
- VMware (64 ビット仮想アプライアンス) VMware ESXi バージョン 6.0、6.5、6.7 サーバー
- Hyper-V (64 ビット仮想アプライアンス) Hyper-V Server 2012 R2、Hyper-V Server 2016

ExtremeControl for ExtremeCloud IQ - Site Engine と ExtremeAnalytics for ExtremeCloud IQ - Site Engine の導入オプション

- VMware (64 ビット仮想アプライアンス) VMware ESXi バージョン 6.0、6.5、6.7 サーバー
- Hyper-V (64 ビット仮想アプライアンス) Hyper-V Server 2012 R2、Hyper-V Server 2016

対応 Web ブラウザ

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox 34 以降
- Google Chrome 33.0 以降

サービスとサポート

Extreme Networks は、お客様のネットワークの保守、設計、導入、最適化を支援する包括的なサービスを提供しています。お客様のニーズに合わせてカスタマイズした技術トレーニング、サービス、およびサポートを提供します。Extreme Networks のサービスとサポートの詳細については、Extreme Networksにお問い合わせください。

オーダー情報

Category	Model Number	Model Description
ExtremeCloud IQ Pilot Subscription	XIQ-PIL-S-C-EW	ExtremeCloud IQ Pilot SaaS Subscription and ExtremeWorks SaaS Support for one (1) device (1 year).
ExtremeCloud IQ Pilot Subscription	XIQ-PIL-S-C-PWP	ExtremeCloud IQ Pilot SaaS Subscription and PartnerWorks Plus SaaS Support for one (1) device (1 year).
ExtremeCloud IQ Navigator Subscription	XIQ-NAV-S-C-EW	ExtremeCloud IQ Navigator SaaS Subscription ExtremeWorks SaaS Support for one (1) device (1 year).
ExtremeCloud IQ Navigator Subscription	XIQ-NAV-S-C-PWP	ExtremeCloud IQ Navigator SaaS Subscription PartnerWorks Plus SaaS Support for one (1) device (1 year).

ExtremeCloud IQ をご利用のお客様は、追加費用無しで ExtremeCloud IQ - Site Engine をご利用いただけます。ExtremeCloud IQ の詳細については、[ExtremeCloud IQ のデータシート](#)をご覧ください。



<http://www.extremenetworks.com/contact>

©2022 Extreme Networks, Inc. All rights reserved. Extreme Networks および Extreme Networks のロゴは、米国およびその他の国における Extreme Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他の名前は、各所有者が所有します。Extreme Networks の商標に関するその他の詳細情報については、こちらの Web サイト (<http://www.extremenetworks.com/company/legal/trademarks>) をご覧ください。仕様および製品の発売時期については、予告なく変更されることがあります。46311-0922-07